

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 101-8301
 住 所 東京都千代田区神田駿河台1-1
 氏 名 学校法人 明治大学 印
 理事長 長堀 守弘
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人明治大学		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	○	教育, 学習支援業
	中分類	81	学校教育
主たる事業 の内容	教育・研究 (大学)		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,412	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部生田キャンパス課
		所在地	神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
		電話番号	044-934-7262
		FAX番号	044-934-7263
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成22年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	当大学の環境への取組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.meiji.ac.jp/koho/academeprofile/activity/environmental/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	8,460 6,812 t-CO ₂	9,062 7,293 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	9,195 7,404 t-CO ₂
削減率		-7.1 -7.1 %	%	%	-8.7 -8.7 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位		t-CO ₂ /m ²
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.07692	0.08240			0.07615
削減率		-7.1 %	%	%	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	平成22年度は夏期の猛暑の影響に加え、下記施設を改修し稼働率が上がった事もあり、総排出量及び原単位が増加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・36号棟を登戸研究所資料館として改修 ・第二校舎3号館2Fを倉庫から事務所に改修 ・学生会館部室センターの空調設備を改修（ラジエターボイラー→エアコン）
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化した熱源設備の更新 ○熱源搬送ホップのINV化 ○空調機制御の改善 ○変圧器の更新、高効率照明機器への更新 ○その他運用対策の継続的取組み(ケル/ウォームピズ、消し忘れパトロール他)
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○空調機制御の改善 中央校舎1F, 2F空調機において、INV装置とCO2制御を導入 ○変圧器の更新、高効率照明機器への更新 老朽化した変圧器を更新及び統廃合(更新12台、撤去4台) FLR式蛍光灯をFHF式に更新(計387台) ○その他運用対策の継続的取組み ケル/ウォームピズ、消し忘れパトロールを継続的に実施
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特に無し
第1年度	特に無し
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化・分別化の推進 ○環境教育の実施 ○行政官庁の推進する共同取組への参加 ○屋上緑化の推進 ○節水対策の継続的取組み
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化・分別化の推進（学生・教職員に対し廃棄ルールの周知した） ○環境教育の実施（学生・教職員に対し本校舎における過去の取組みを説明した） ○行政官庁の推進する共同取組への参加（ライトダウンキャンペーン、CC川崎エコ会議） ○屋上緑化の推進（クビ7の試験植栽を継続実施） ○節水対策の継続的取組み（節水型トイレの導入）
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	8,363	t-CO ₂
(調)	7,129	

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
明治大学 生田校舎	川崎市多摩区東三田1-1-1	8161	学校教育	8,363 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--